

# 藤田保健衛生大学七栗記念病院 リハビリテーション部門

Department of Rehabilitation  
Fujita Health University Nanakuri Memorial Hospital



藤田保健衛生大学七栗記念病院リハビリテーション部門

〒514-1295 三重県津市大鳥町424番地の1  
Phone: 059-252-1555, Fax: 059-252-1383  
E-mail: rehab7n@fujita-hu.ac.jp  
<http://www.fujita-hu.ac.jp/~rehabmed/nanakuri/index.html>



# 藤田保健衛生大学七栗記念病院 リハビリテーション部門

Department of Rehabilitation, Fujita Health University Nanakuri Memorial Hospital

回復期リハビリテーション医療を担う七栗記念病院は、藤田保健衛生大学リハビリテーション部門の中核的存在です。

## 藤田保健衛生大学リハビリテーション部門 Fujita Health University Rehabilitation Complex



- ・藤田保健衛生大学のリハビリテーション専門家集団です。
- ・関連10部署からなる日本最大の大学リハビリテーション組織です。
- ・最高のリハビリテーション医学・医療を創生、普及することで社会に貢献します。
- ・モットーは活動医学を指向した臨床中心主義です。
- ・私たちのキーワード OLP (overload principle) : 明日は今日より凄い  
COSPIRE (mutual inspiration) : 共に歩んで専門性を創る

### 構成部署

医学部リハ医学Ⅰ講座 (1987)	七栗記念病院リハ部 (2000)
医学部リハ医学Ⅱ講座 (2007)	第2教育病院リハ部 (2000)
医学部リエゾンリハ寄付講座 (2013)	地域包括ケア中核センター (2013)
医療科学部リハ学科 (2004)	RSH・活動支援機器研究実証センター (2017)
大学院リハ部 (2000)	藤田リハ医学・運動学研究会 (1997)

## 七栗リハビリテーションの概要

三重県で唯一のリハビリテーション医学講座を持つ大学院として、最新の臨床はもちろん、最先端の研究と教育を行っています。私たちが考案して、2000年にスタートしたリハビリテーションシステム「FIT program」が実践されています。このプログラムは、日本初の統合的高密度リハビリテーション病棟システムです。高濃度かつ精緻なリハビリテーション治療が自然に可能となるようデザインされたハードウェアとソフトウェアによって、患者さんのより良い機能回復と社会復帰を実現します。

### 展開される先駆的リハビリテーション

#### Full-time Integrated Treatment (FIT) program (2000年開始)

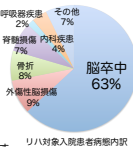
- 良好な回復をサポートする高頻度 (毎日) で高密度 (一日中) のリハビリテーション
- 一体的にデザインされた病棟空間が生み出す綿密なチームワーク
- 患者さん、家族、そして私たちを同じ目標に導く、わかりやすい情報共有



#### リハビリテーション対象入院患者さんの概要 (2016年度)

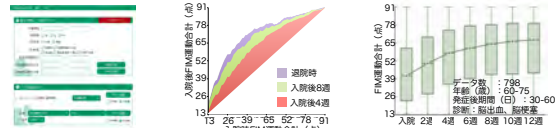
年齢	: 67.9歳
在棟日数	: 63.2日
FIM運動開始	: 50.1点
FIM運動終了	: 65.1点
FIM運動利得	: 15.0点
FIM運動効率	: 0.24点/日
自宅復帰率	: 78.8%

\*数値は平均値、FIMは世界標準の日常生活活動評価値です



#### 入院患者さんの七栗データベース: CARD (Comprehensive and Accessible Rehabilitation Database)

長年の豊富な臨床経験を詳細なデータベースに記録整理された4,000件を超えるデータから個々の患者さんの将来を的確に見出し、最適な治療を行います。



#### Advanced FIT program (2009年開始)

- FITは進化し続けます。
- ・運動麻痺改善に注力した介入法として、Mirror therapy、電気刺激法、促進反復療法
  - ・安全懸架を用いた歩行練習
  - ・上肢ロボット練習
  - ・歩行ロボット練習、バランスロボット練習
  - ・続々と新しい治療を生み出し応用しています。



## 充実したリハビリテーション医療者

リハビリテーション科専門医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、リハビリテーション看護師、リハビリテーション工学士、社会福祉士、介護福祉士など、総勢180名を越すリハビリテーション医療者が最適な社会復帰をサポートします。また、多くのメンバーが大学の教員・研究者でもあり、質・量共に充実した最新の科学的な治療を提供します。

スタッフは総勢180名を超えます。  
5名のリハビリテーション科専門医がチームをリードします。

総数184名 (2017.4現在)	
医師 : 10名	エンジニア : 1名
(リハ科専門医 5名)	看護師 : 60名
歯科医師 : 1名	社会福祉士 : 6名
理学療法士 : 36名	介護福祉士 : 24名
作業療法士 : 34名	歯科衛生士 : 3名
言語聴覚士 : 15名	

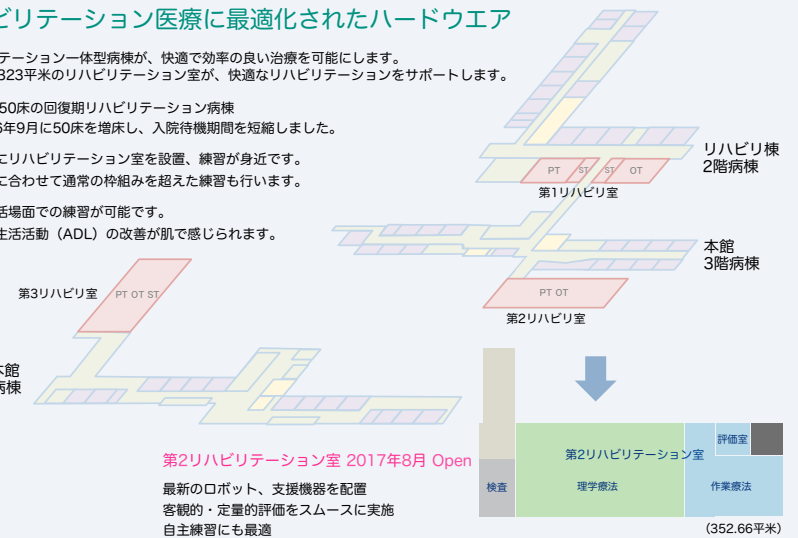
多職種連携による摂食嚥下リハビリテーション  
リハ科医師、歯科医師、歯科衛生士、看護師、言語聴覚士がチームを組んで最適な評価、治療を行います。



## リハビリテーション医療に最適化されたハードウェア

リハビリテーション一体型病棟が、快適で効率の良い治療を可能にします。総面積1,323平米のリハビリテーション室が、快適なリハビリテーションをサポートします。

- ・3病棟150床の回復期リハビリテーション病棟  
2016年9月に50床を増床し、入院待機期間を短縮しました。
- ・各病棟にリハビリテーション室を設置、練習が身近です。  
状態に合わせて通常の枠組みを超えた練習も行います。
- ・病棟生活場面で練習が可能です。  
日常生活活動 (ADL) の改善が肌で感じられます。



## 最先端のリハビリテーション医療

リハビリテーションロボットを歩行能力やバランス能力の獲得に役立てます。全国に先駆けて2016年10月からランダム化比較研究を開始しました。

- ・トヨタ自動車 (株) など多数の企業とロボットや支援機器を共同開発しています。



## 研究と普及

- ・業績 (2016年度)  
研究発表/講演 : 国内88編、国際9編  
論文/著書 : 和文8編、英文20編

- ・七栗セミナー  
医療関係者向けに年6回開催しています。  
(2017年7月現在、計105回開催)

